

# アイカ工業の 強みと成長戦略



C&C2000  
CHALLENGE & CREATION

挑戦と創造

## アイカ工業株式会社

2018年9月19日 広報・IRグループ長 高添香織

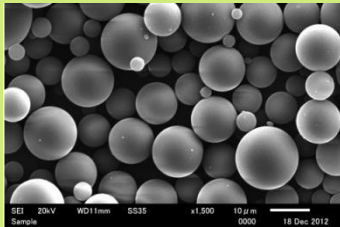
社名	アイカ工業株式会社 Aica Kogyo Company, Limited
本社	愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋26階
設立	1936(昭和11)年10月20日
資本金	98億9,170万円 ※東証・名証第1部上場、JPX日経インデックス400構成銘柄
売上高	1,637億2,600万円(2018年3月期連結)
経常利益	196億円(2018年3月期連結)
事業内容	化成品・建装建材の製造・販売
従業員数	[連結]3,850人 [単独]1,175人(2018年3月末現在)
事業所	工場／愛知2、福島1、群馬1、広島1、茨城1、兵庫1 R&Dセンター／愛知1、茨城1、兵庫1 営業拠点／国内25、海外1(ベトナム)
関係会社	国内6社、海外39社 合計45社

今年は、創立82年となります

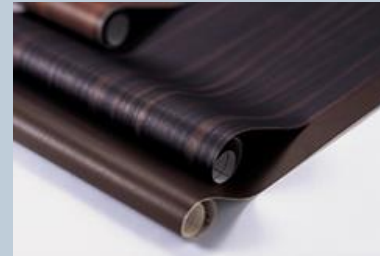
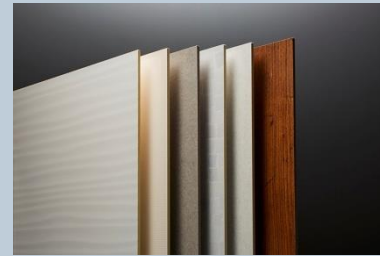
## <化成品>



## <機能材料>



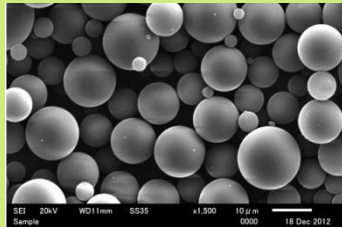
## <建装建材>



**メラミン化粧板・キッチンパネルなどで  
国内シェアNo.1**

**化学メーカーとしての技術基盤と独創性のあるデザイン力を活かし、2つの事業を展開**

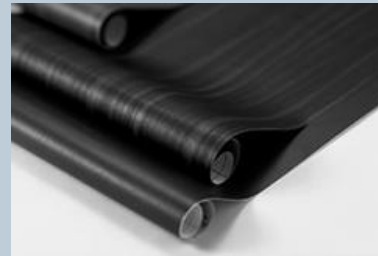
## <化成品>



## <機能材料>



## <建装建材>



メラミン化粧板・キッチンパネルなどで  
国内シェアNo.1

まずは、樹脂製品を扱う化成品事業についてご案内します

合板・木質ボード原材料用樹脂



家具・什器 製作用接着剤



ボード・タイル・床材等 施工用接着剤



ラッピング部材用接着剤



木質材料・建築関係の接着技術を得意としています

断熱材用樹脂



研磨材用樹脂



鑄型用樹脂



靴用接着剤



見えないところでも使われているアイカの樹脂製品

塗り壁材



塗り床材



補修・補強材



補修・補強材



建築現場で使用される樹脂製品にも用途が拡大しています

## 自動車部品用接着シール材・コーティング材



## 繊維用樹脂



## 電子製品用コーティング材・ホッティング材

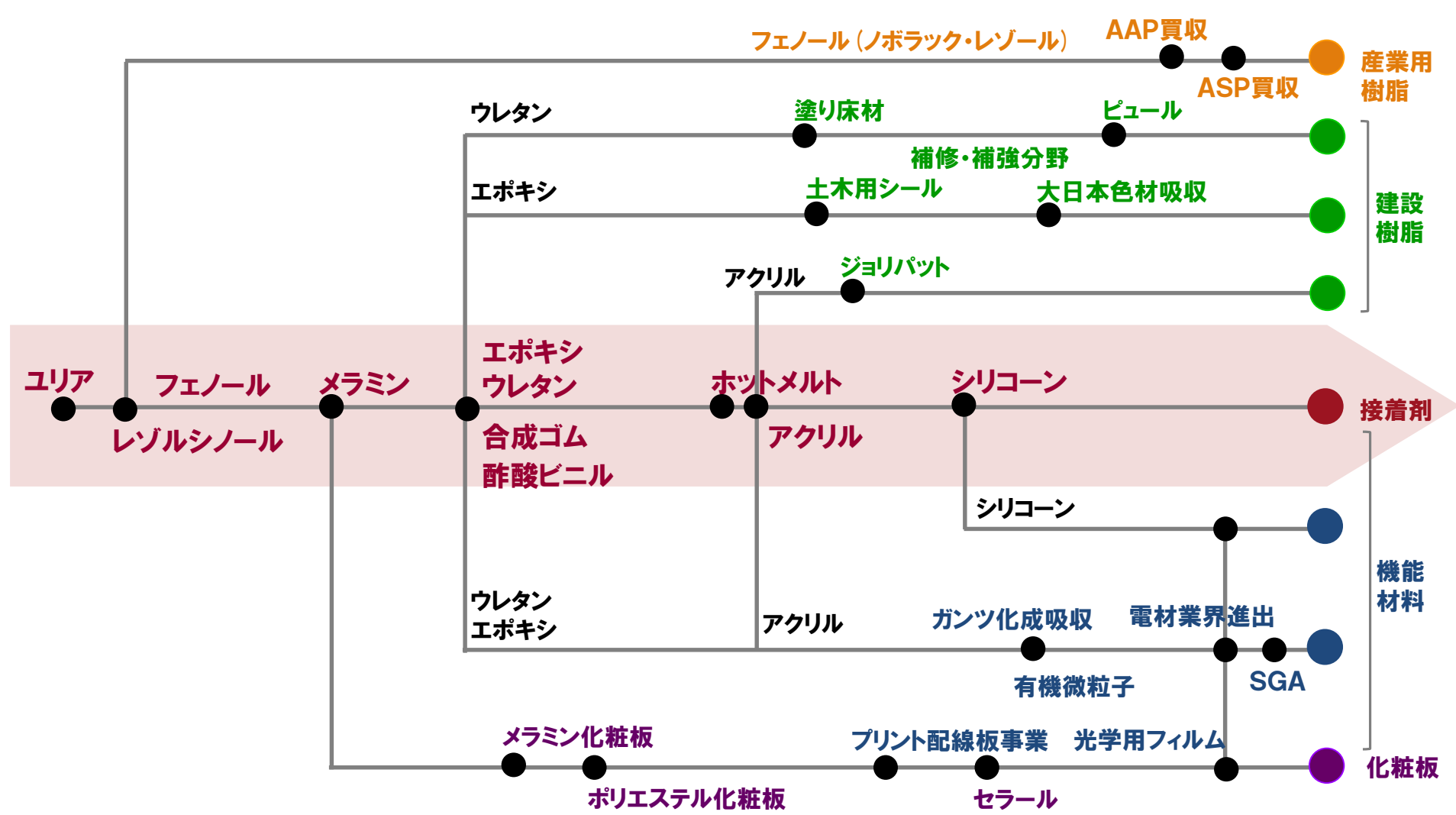


## 化粧品原料



近年は、非建築分野領域にも進出しています





**高い樹脂合成技術**

**豊富な樹脂ラインアップ**

## <国内>

- : アイカ工業国内生産拠点(5拠点)
- : グループ会社生産拠点(1拠点)



アイカSDKフェノール(群馬)



丹波工場・R&Dセンター(兵庫)



広島工場



甚目寺工場・R&Dセンター(愛知)



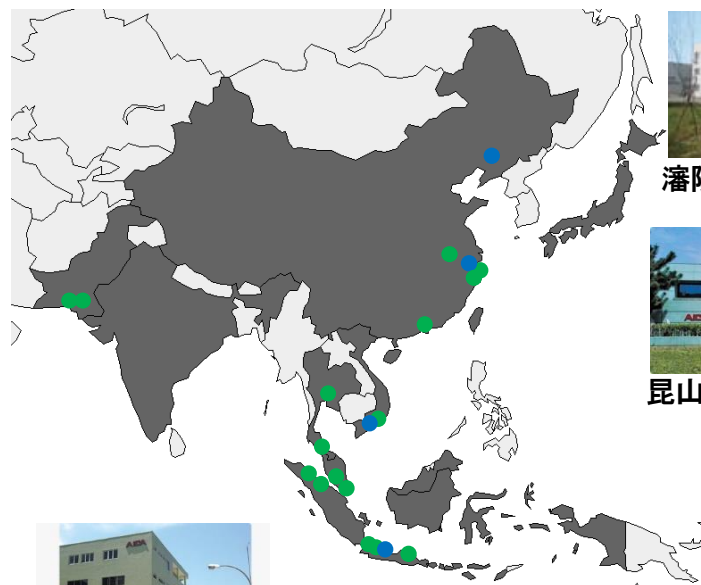
福島工場



茨城工場・R&Dセンター

## <海外>

- : グループ会社生産拠点(4拠点)
- : アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社子会社生産拠点(18拠点)



瀋陽愛克浩博化工



昆山愛克樹脂有限公司



アイカインドネシア社



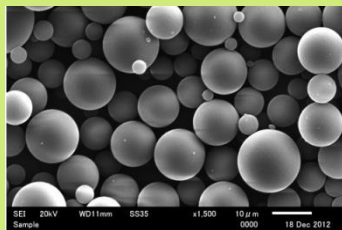
アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社(シンガポール)

### アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社

- ・中国 4拠点
- ・インドネシア 5拠点
- ・タイ 2拠点
- ・ベトナム 1拠点
- ・マレーシア 1拠点
- ・シンガポール 1拠点
- ・ニュージーランド 2拠点
- ・パキスタン 2拠点

M & Aを活用しシナジー創出 9カ国・18法人・28工場

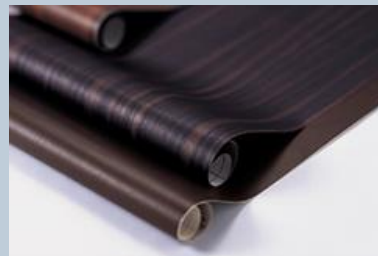
## &lt; 化成品 &gt;



## &lt; 機能材料 &gt;



## &lt; 建装建材 &gt;



メラミン化粧板・キッチンパネルなどで  
国内シェアNo.1

続いて、化粧板や壁材、カウンター、建具などを扱う建装建材事業です



様々な建物でアイカ製品が活躍しています



近年、需要が伸びている建物の市場も取り込んでいます

# アイカ建装建材事業の強み(社会課題の解決)



**取扱商品群**

樹脂製品	壁	家具・什器	カウンター	建具・パーティション
<ul style="list-style-type: none"> <li>補修補強材</li> <li>塗り床材</li> <li>接着剤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セラール</li> <li>化粧シート</li> <li>ケイカル板</li> <li>塗り壁材</li> <li>押出成形セメント板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メラミン化粧板</li> <li>化粧ボード</li> <li>化粧シート</li> <li>木口テープ</li> <li>装飾材</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポストフォーム</li> <li>洗面カウンター</li> <li>人工大理石</li> <li>人造石</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレブース</li> <li>室内ドア</li> <li>収納</li> <li>機能性引き戸</li> </ul>

意匠連動・1物件複数商品営業

■改修向け商品拡販  
「メラタック」「モイス」  
「マグネットメラミンEV」



省施工 廃材削減

職人不足対応

■トイレ向け商品拡充  
キッズ向け  
トイレブース

子育て支援



■浴室改修パネル

工期短縮

廃材削減

客室稼動  
改修

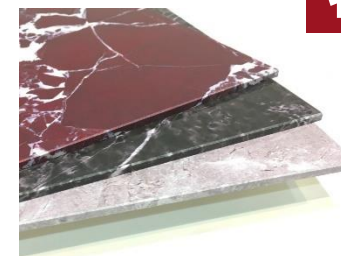


■UV硬化不燃化粧板  
アルディカ

物流費削減

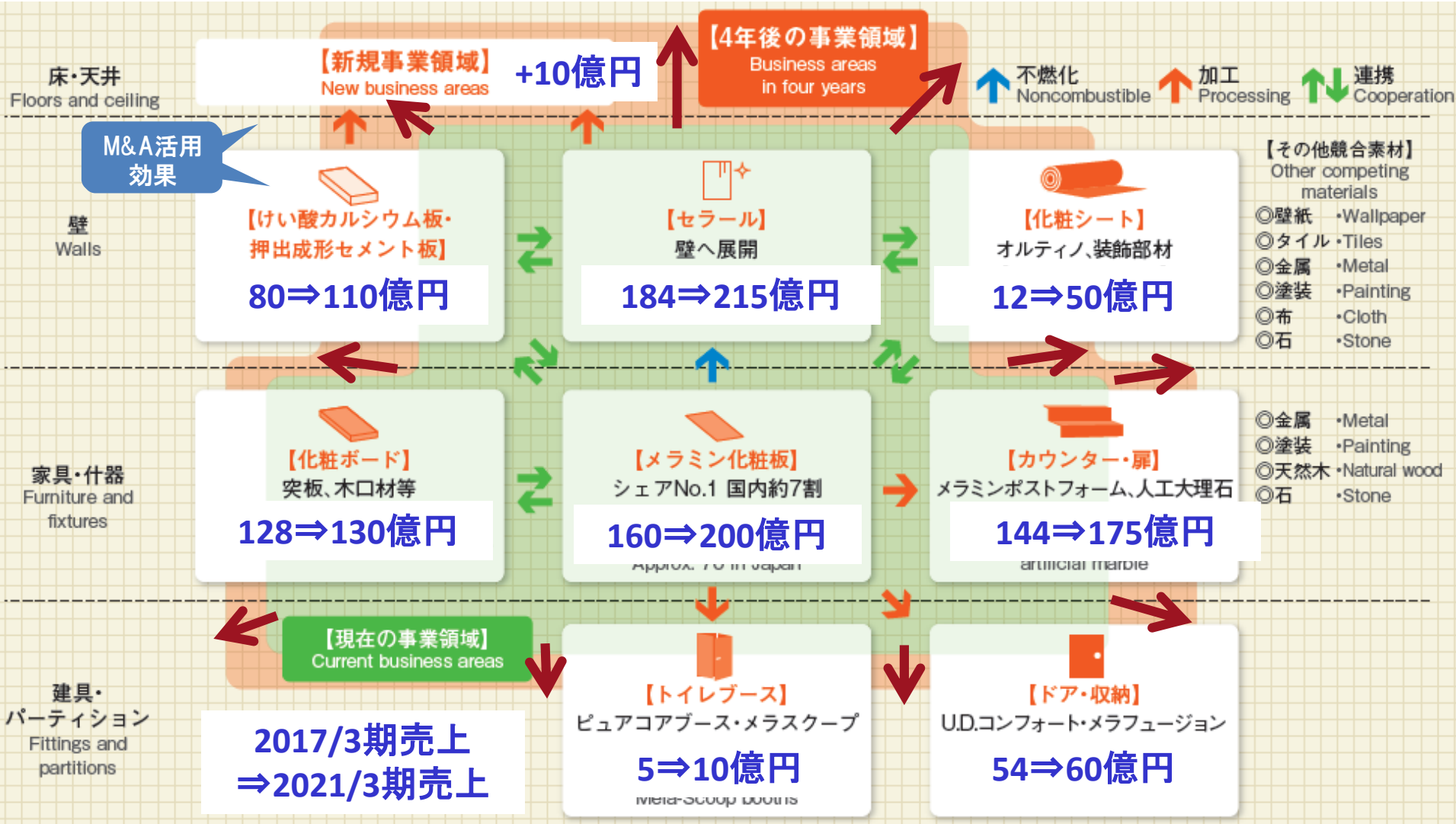
工期短縮

省施工



## 化学×デザイン ⇒ 社会課題の解決

# 建装建材セグメントの成長戦略



メラミン化粧板の高いシェアと強力な販路 × M&Aシナジー  
⇒ 周辺の新規市場の獲得



## <国内>

- : アイカ工業生産拠点 (1拠点)
- : グループ会社生産拠点 (6拠点)



アイカテック建材市川工場(兵庫)



アイカハリマ工業(兵庫・本社工場)



アイカハリマ工業(兵庫・加西工場)



アイカテック建材明野工場(茨城)



アイカインテリア工業(愛知)



本社工場(愛知)



アイカテック建材名古屋工場

## <海外>

- : グループ会社生産拠点 (5拠点)



アイカテックウッドインドネシア社



アイカインドネシア社(2工場)



アイカラミネートインドエア社

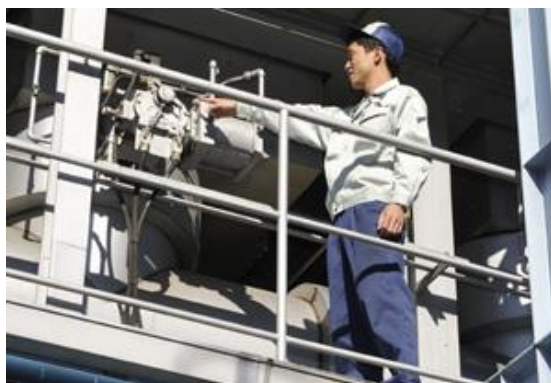


マイカラミネーツ社(マレーシア)

M & Aや拠点新設で領域拡大

4カ国・8法人・12工場

# 社は 挑戦と創造



製造



販売



技術

アイカには、誰にでも新しいモノを創り出すチャンスがある

1936. 10. 愛知時計電機株式会社から化学部門が分離  
独立し、**愛知化学工業株式会社**を設立  
(生産品目: 接着剤・点火栓・安全ガラス等)



1939. 02. **日本初のユリア樹脂接着剤「愛知無敵糊」**発売  
その後様々な樹脂の接着剤の製造へ展開



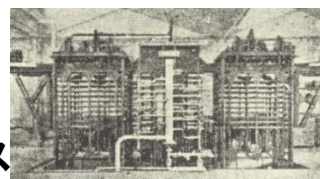
木製プロペラ用接着剤

1954~57 点火栓・ジャッキ・陶磁器事業からの撤退

1958.07 **レジンペーパー (メラミン樹脂含浸紙)** 発売

1960.01 **メラミン化粧板**発売

1966.06 **創立30周年**を機に社名を**アイカ工業**へ変更



メラミン化粧板1号プレス



点火栓の事業は現在の  
DENSOに引き継がれました

様々な樹脂の接着剤を発売

メラミン樹脂から化粧板事業へ

1968.04 メラミンカウンター「**アイカポストフォーム**」発売

1971.01 ポリエステル化粧合板「**アイカポリ**」発売

1974.03 **アイカインドネシア社**(インドネシア)設立

1975.11 塗り壁材「**アイカジョリパット**」発売

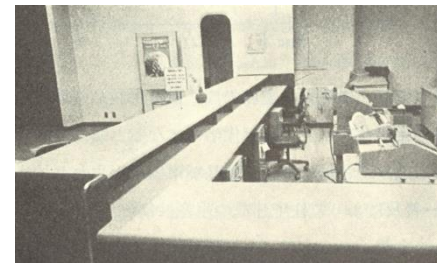
1984.06 メラミン化粧板「**アイカカラーシステム105**」発売

1984.12 プリント配線板事業に進出(2014年に譲渡)

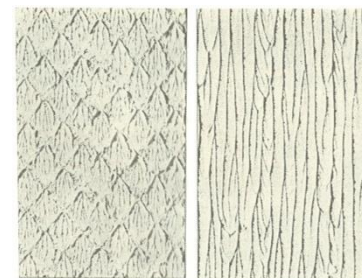
1986.05 東京証券取引所市場第1部へ昇格

1989.09 メラミン不燃化粧板  
「**アイカセラル**」発売

1999.11 環境報告書を創刊



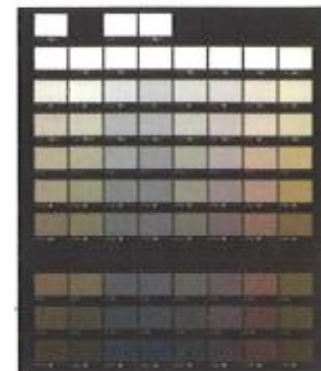
ポストフォームカウンター



フランスから技術導入した  
「ジョリパット」



セラル



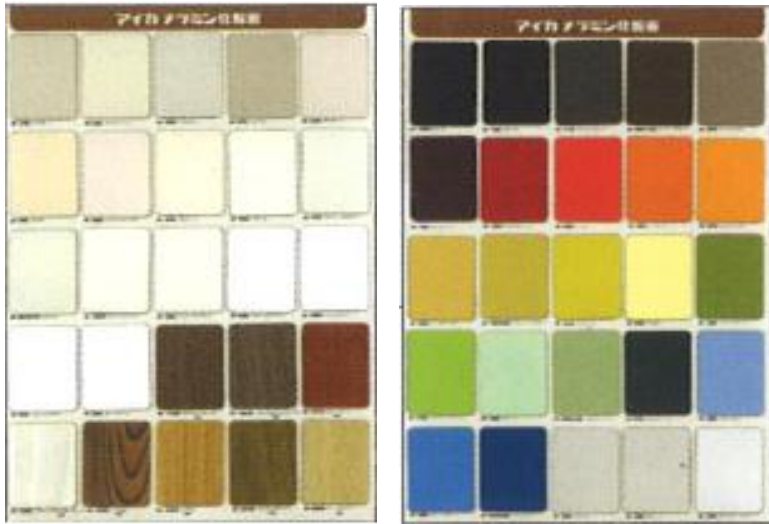
アイカカラーシステムメラミン105

住器建材事業、海外、電子事業へ進出

## 2001 - 2018 事業拡大期

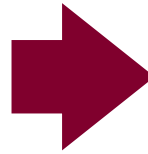
- 2001.03 武田薬品から**ガンツ化成**の株式取得・子会社化  
→2012年吸収合併 **アクリル・微粒子** **塗料・車両・化粧品・電子製品市場**
- 2002.11 現三菱ケミカルから**大日本色材工業**の株式取得・子会社化  
→2005年吸収合併 **エポキシ** **土木市場・補修補強市場**
- 2011.06 Bombay Burmah社(インド)の化粧板事業を譲り受け  
→**アイカ・ラミネーツ・インド**社を設立 **化粧板** **インド市場**
- 2012.12 ダイネア社(フィンランド)のアジア太平洋部門子会社の株式取得。  
→**アイカ・アジア・パシフィックH**社を設立 **化成品** **アジア・オセアニア市場**
- 2014.04 プリント配線板の製造・販売事業を売却
- 2015.09 昭和電工のフェノール樹脂事業を譲り受け  
→**アイカSDKフェノール**設立 **フェノール樹脂** **日本→アジア市場**
- 2015.10 三菱マテリアル建材の建材事業を譲り受け  
→**アイカテック建材**設立 **セメント板・ケイカル板** **内外装不燃市場**
- 2018.01 エバモア・ケミカル・インダストリーの株式取得・子会社化  
**UV樹脂・ホットメルト** **東アジア・東南アジア市場**
- 2018.03 AAPがタイ・ケミカル・コーポレーションの株式取得・子会社化  
**化成品** **タイ市場**

M & Aを活用し、新規事業領域へ拡大



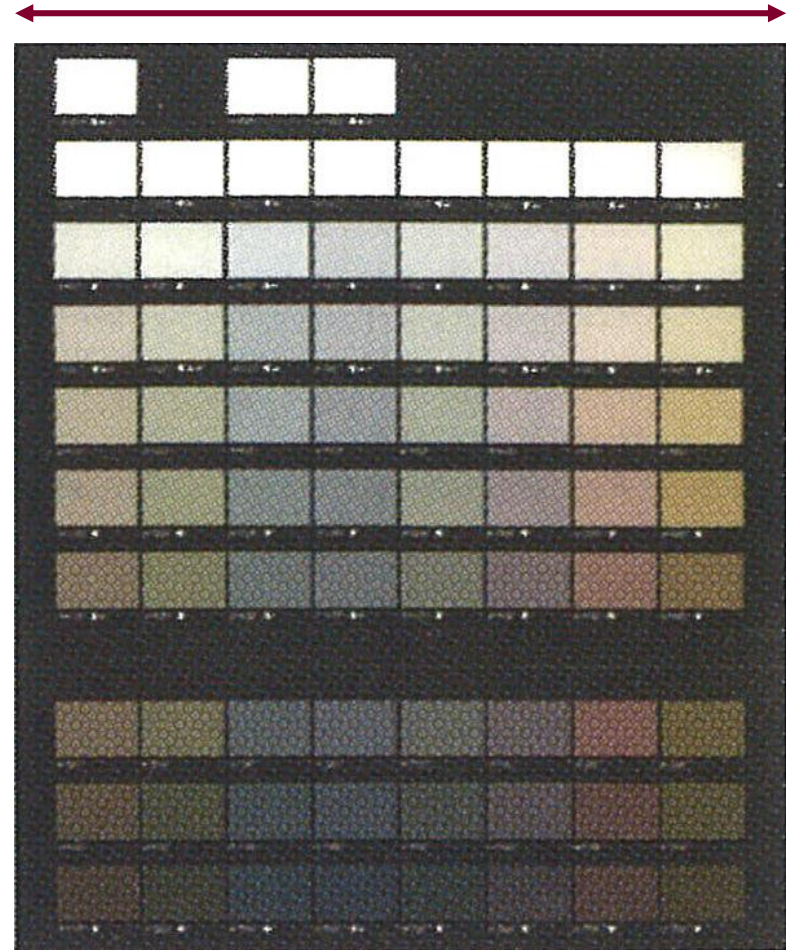
たった46色 並びがバラバラ

メラミン化粧板選定の他に、  
塗装の色見本として使われ  
るほどの人気に



明度

色相



アイカカラーシステムメラミン105  
〈ベーシックカラー75色〉

カラーシステム化により、業界のスタンダードに



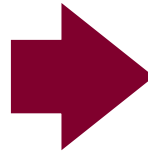
キッチン前壁はタイルが主流 目地の汚れに悩んでいた



キッチンパネルとしてセラールを提案

目地無くお手入れ簡単



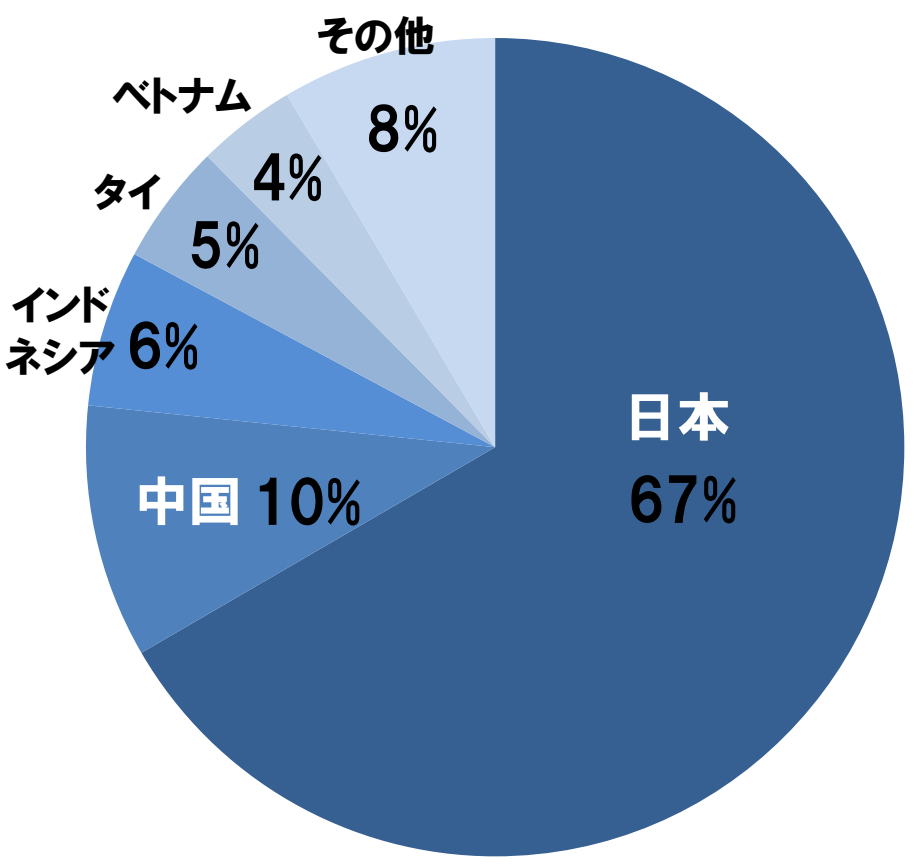
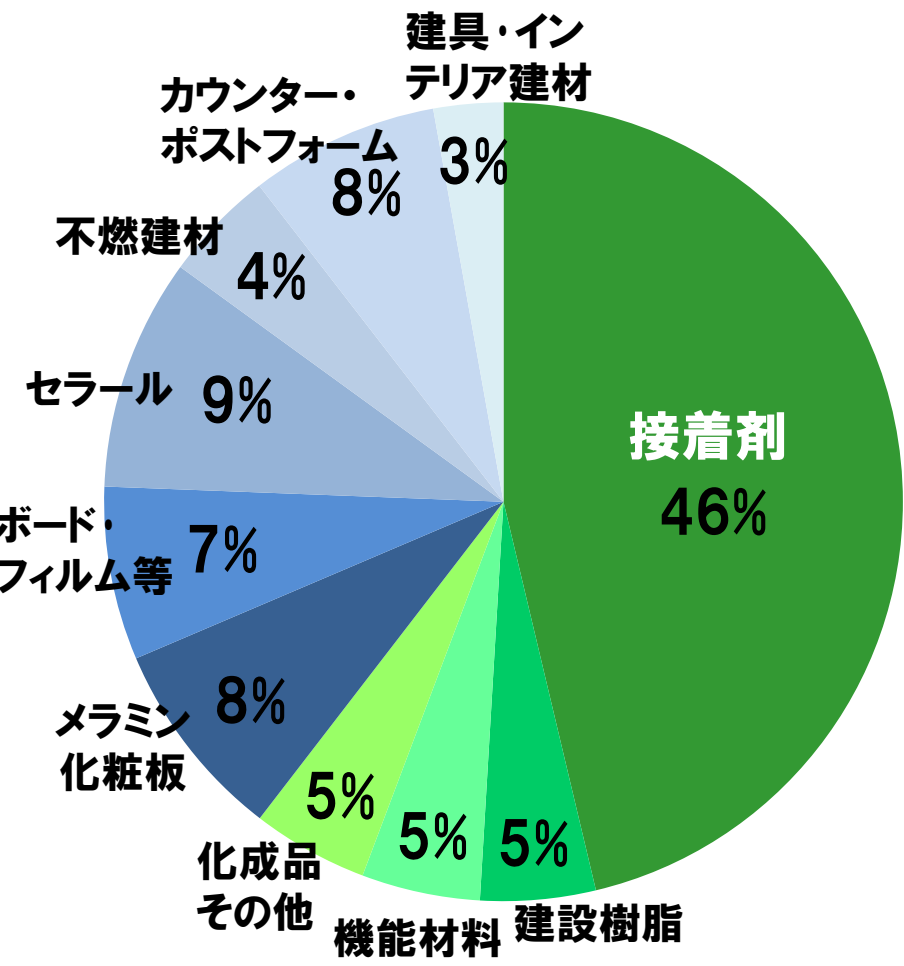


セラールONタイル工法と専用接着剤の開発で更に拡販

# 売上構成

■ 2018年3月期事業別売上構成

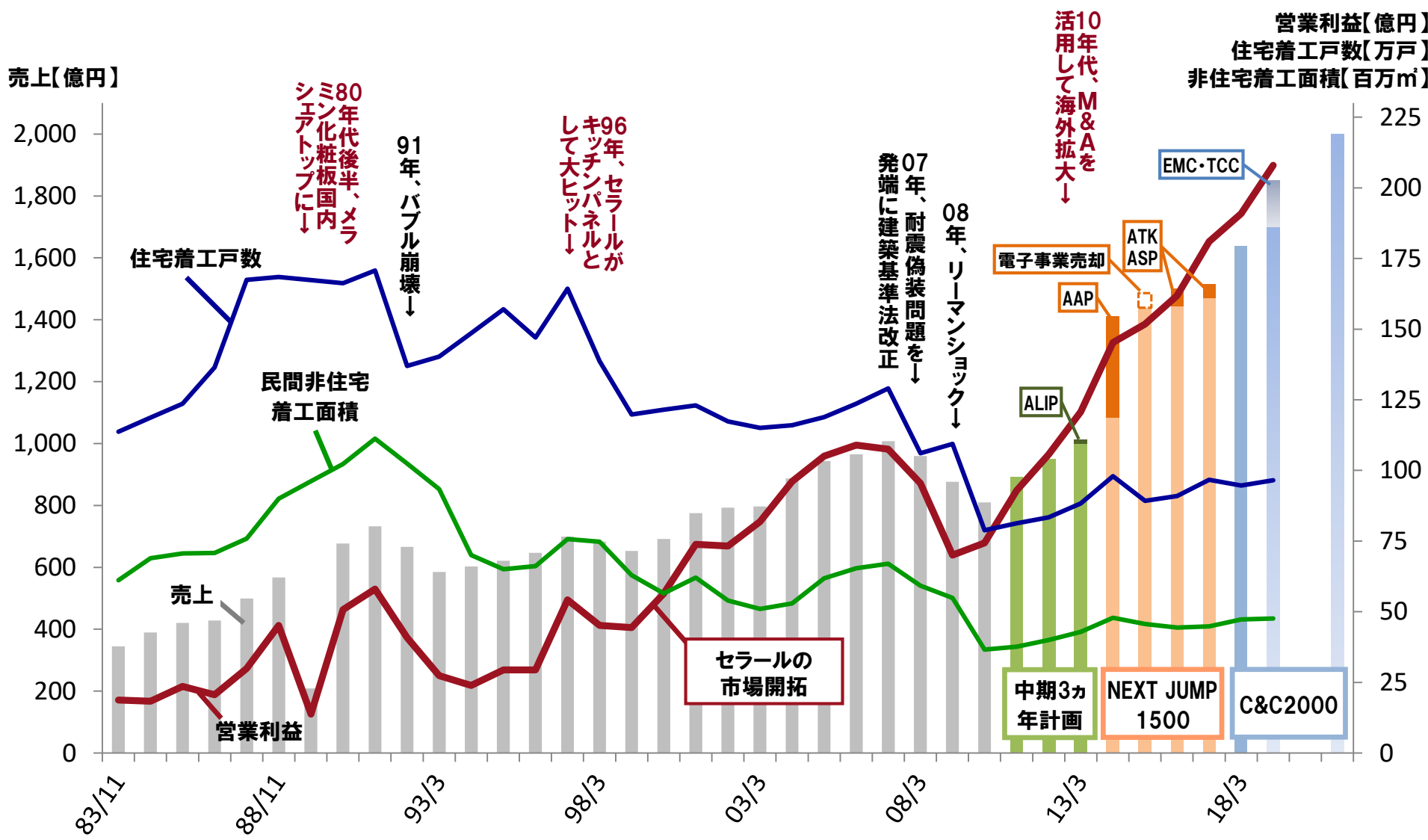
■ 2018年3月期地域別売上構成



化粧品：建装建材 = 3：2

日本：海外 = 2：1

# アイカ連結業績の歴史



国内住宅市場依存 → 国内非住宅市場取込 → 住宅/非住宅市場のバランスを取り拡大 → 国内建設市場動向に左右されない体質へ

※89/3期は、決算月変更に伴い4ヶ月決算

# アイカ10年ビジョン (2018/3期-2027/3期)

## 10年後の財務目標

	2017年3月期		2027年3月期
連結売上高	1,516億円	→	3,000億円
経常利益	183億円	→	300億円
ROE	9.9%	→	10%以上
海外売上比率	30.8%	→	45%以上

## 10年後のあるべき姿

**化成品事業** 売上高 1,700億円

化成品事業は、人々の暮らしや社会インフラを支える建設分野向け樹脂で「アジアトップメーカー」を目指しつつ、自動車、日用品、電子材料など非建設分野で成長していきます

【事業連携】 化成品事業と建装建材事業が相互に触発・連携し、社会に役立つ独創的な商品を生み出していく企業グループを目指します

【資本提携やM&Aの活用】 資本提携やM&Aも含め積極的に自己資金を投入していきます

**建装建材事業** 売上高 1,300億円

建装建材事業は、外壁を含めた壁市場全体に事業領域を拡大し、住宅・非住宅の生活空間に快適・安全を提供できる「空間デザインメーカー」として成長を続けていきます

【グループ連携・事業基盤の強化】

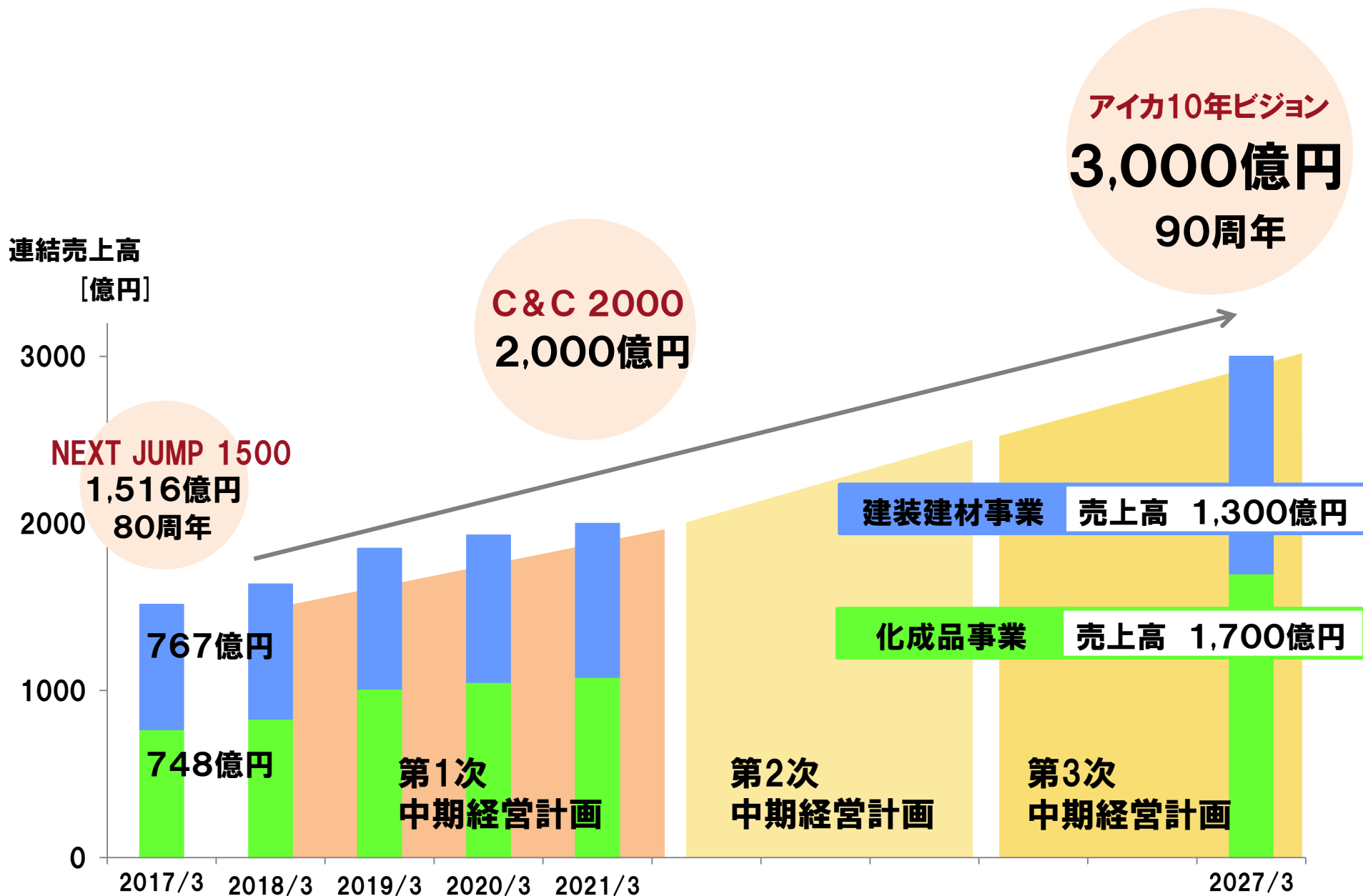
生産・物流体制最適化	技術・素材連携	研究開発投資
コンプライアンス	QEOマネジメント	健全な財務基盤
ITインフラ整備		

【人材育成】

グローバル人材	ダイバーシティ	プロフェッショナル人材
---------	---------	-------------

【ステークホルダーへの責任】

企業価値の増大	コーポレートガバナンスの強化	地域社会との共生	CS・ESの向上
---------	----------------	----------	----------





【財務目標】

項目	17/3期(実績)
売上高	1,516億円
経常利益	183億円
ROE	9.9%
海外売上比率	30.8%



項目	21/3期(計画)
売上高	2,000億円
経常利益	220億円
ROE	10%以上
海外売上比率	35%以上

## 【基本方針】

### 1. 3つの成長ドライブの追及と実現

- ① AS商品※1群の拡充による  
国内基幹事業の成長持続
- ② 次世代を担う注力分野の育成・投資  
(非建設向け分野、建材未開拓分野)
- ③ ジャパンテクノロジーの海外展開

### 2. 成長を支える経営基盤強化

- C & C活動※2を通じた一人ひとりの成長
- QEOマネジメント※3とIT基盤刷新によるCS・ES※4の向上
- コンプライアンスの遵守

- ※1 AS商品 AICA Solution商品の略。様々な社会課題を解決する商品
- ※2 C & C活動 挑戦と創造の精神のもと、製品・サービス・仕事などの質の管理・改善を行う小集団活動。70年頃から行っている
- ※3 QEOマネジメント 品質 (Quality) ・環境 (Environment) ・労働安全衛生 (Occupation health and safety) 、三位一体のマネジメントシステム
- ※4 CS・ES CSは顧客満足度、ESは従業員満足度を指す





項目	2017/3期 (実績)	2018/3期 (実績)	2019/3期 (計画)	2021/3期 (計画)
売上高	1,516億円	1,637億円	1,850億円	2,000億円
経常利益	183億円	196億円	210億円	220億円
ROE	9.9%	10.1%	10.6%	10%以上
海外売上比率	30.8%	33.4%	38%以上	35%以上

中期経営計画 目標2,000億円(+484億円、年率7%成長)  
グループ一丸となり推進



## 中期経営計画の進捗



4年累計  
投資計画

1年目  
投資実績

2年目  
投資計画

設備投資

220億円

45.2億円

80.0億円

事業投資

180億円

50.6億円

未定

+

研究開発費

140億円

28.5億円

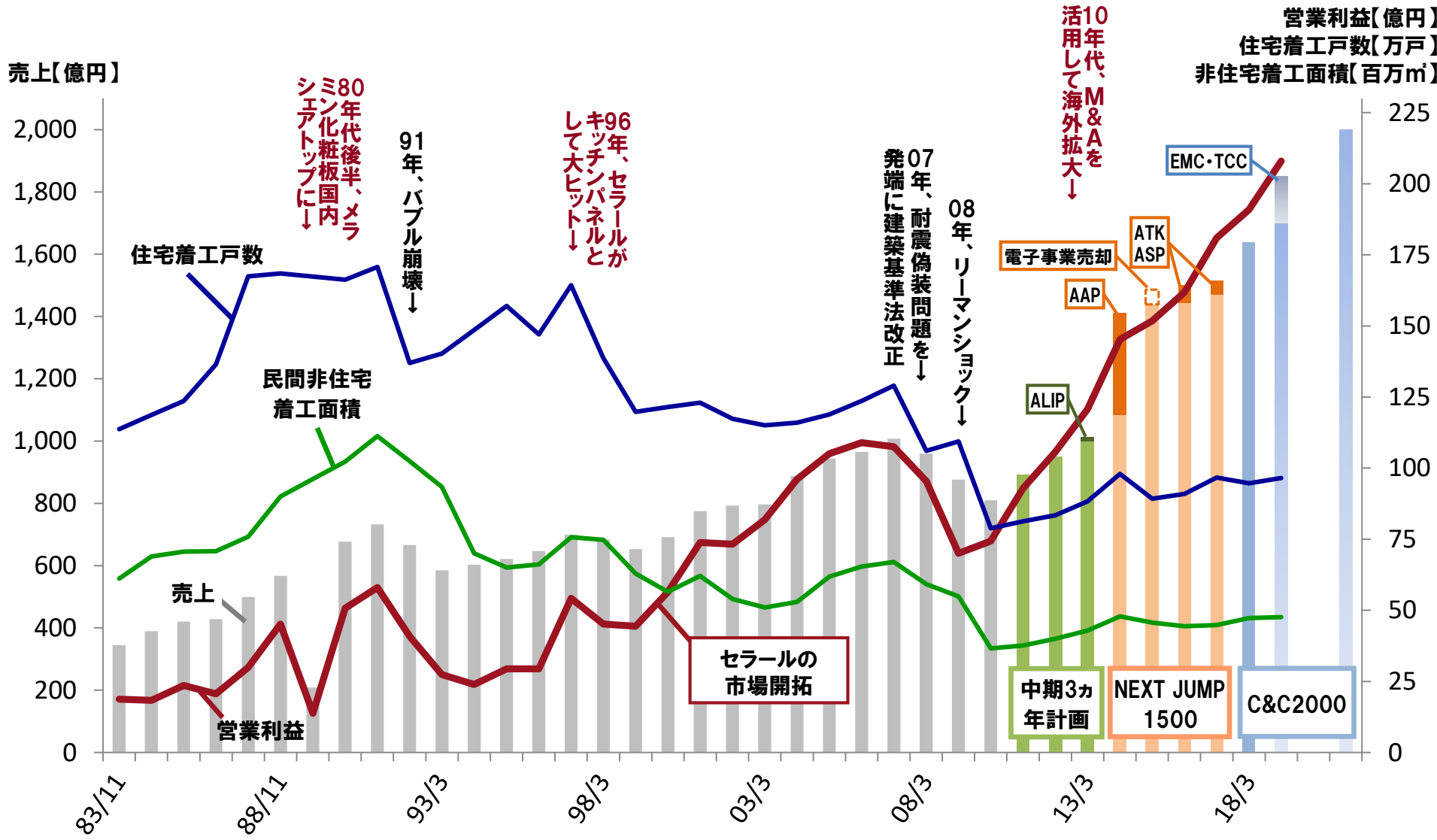
32.2億円

人財投資

▶ グローバル人材積極採用 / 育成・働き方改革  
プロフェッショナル人材育成・ダイバーシティ推進

長期戦略実現に向け、積極的に投資を実行

# アイカ連結業績の歴史

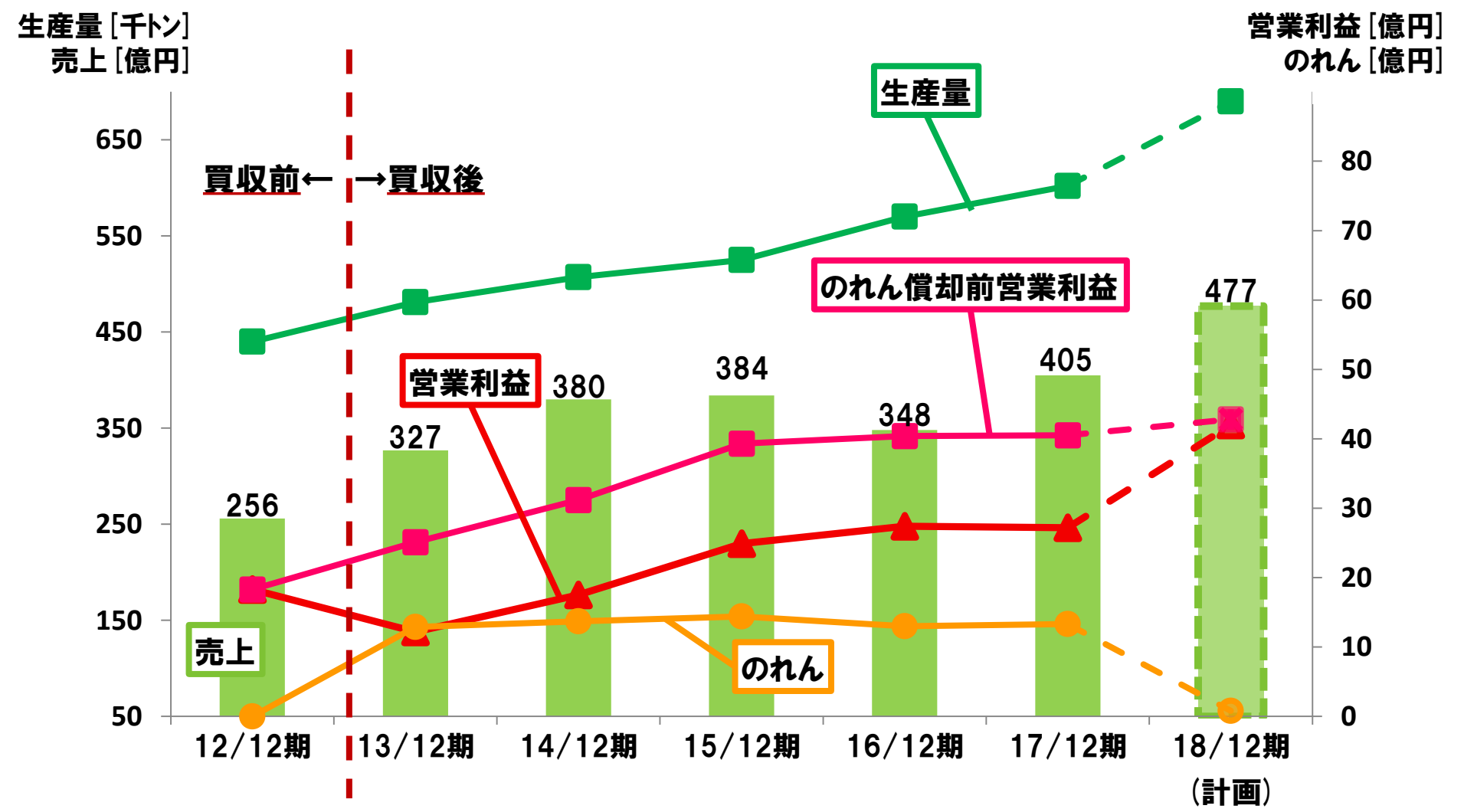


国内住宅市場依存 → 国内非住宅市場取込 → 住宅/非住宅市場のバランスを取り拡大 → 国内建設市場動向に左右されない体質へ

※89/3期は、決算月変更に伴い4ヶ月決算

## ■ M&Aの実績 (2000年～)

	国内	海外
化成品	旧大日本色材工業 (2002) 西東京ケミックス (2008)	アイカ・アジア・パシフィック (2012) タイ・ケミカル・コーポレーション (2018)
	旧アイカSDKフェノール (2015)	
機能材料	旧ガンツ化成 (2001)	エバモア・ケミカル・インダストリー (2018)
建装建材	アイカテック建材 (2015)	アイカ・ラミネーツ・インドニア (2011)



**買収前比較** 売上 +149億円(1.6倍・年率9.6%成長)  
 のれん償却前営業利益 +22.2億円(2.2倍・年率17.3%成長)

## <国内>

- : アイカ工業国内拠点 (本社・生産拠点・支店・営業所)
- : グループ会社 (本社および生産拠点。支店は省略)



## <海外>

- : 本社および生産拠点のみをプロット。支店は省略



7カ国・11法人・13工場

海外売上比率7.2%

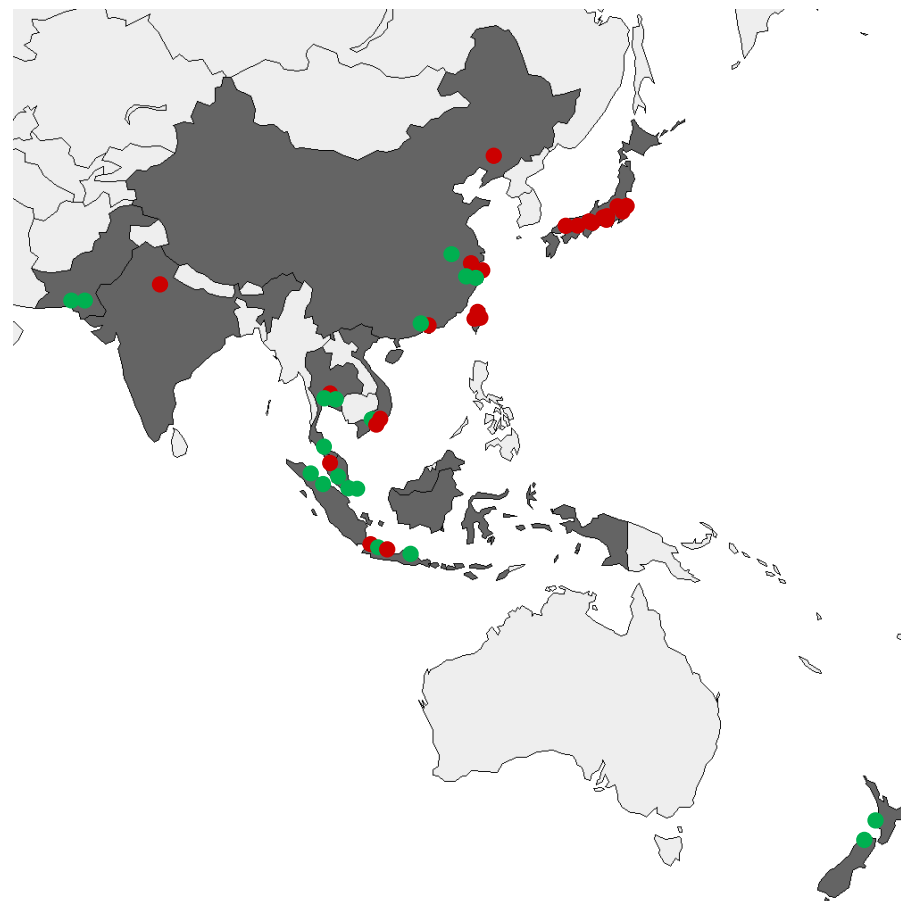
## <国内>

- : アイカ工業国内拠点 (本社・生産拠点・支店・営業所)
- : グループ会社 (本社および生産拠点。支店は省略)



## <海外>

- : 本社および生産拠点のみをプロット。支店は省略
- : 新たに加わったアイカ・アジア・パシフィック生産拠点



14カ国・45法人・45工場

海外売上比率33.4%

[単位:百万円]

	2017/3期		2018/3期				
	実績	率	計画	実績	率	伸率	達成率
売上高	151,633		159,000	163,726		8.0%	103.0%
営業利益	18,099	11.9%	19,000	19,092	11.7%	5.5%	100.5%
経常利益	18,374	12.1%	19,400	19,600	12.0%	6.7%	101.0%
当期純利益※	11,064	7.3%	11,700	11,996	7.3%	8.4%	102.5%

※:親会社株主に帰属する当期純利益

[一株当たり単位:円]

ROE	9.9%	-	9.9%	10.1%	-	-	102.0%
一株当たり純利益	169.5	-	179.2	183.8	-	-	102.6%
一株当たり株主資本	1,759.9	-	1,865.0	1,879.1	-	-	100.8%

**伸び率**

売上高	+8.0%	8期連続増収
営業利益	+5.5%	9期連続増益
経常利益	+6.7%	9期連続増益
当期純利益※	+8.4%	2期連続増益

※親会社株主に帰属する当期純利益

**売上・営業利益・経常利益** : 6期連続 過去最高を更新  
**当期純利益** : 2期連続 過去最高を更新

■ **国内事業**: 住宅向け・非住宅向け共に 好調  
機能材料事業 好調

■ **海外事業**: アイカ・アジア・パシフィック(AAP) 好調  
東南アジアにおける化粧板販売 好調



[単位:百万円]

	2018／3期 実績		2019／3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増加額
売上高	163,726	-	185,000	-	13.0%	21,274
営業利益	19,092	11.7%	20,800	11.2%	8.9%	1,708
経常利益	19,600	12.0%	21,000	11.4%	7.1%	1,400
当期純利益※	11,996	7.3%	13,400	7.2%	11.7%	1,404
ROE	10.1%	-	10.6%	-	-	-
ROA	6.8%	-	6.8%	-	-	-
一株当たり純利益	183.7円	-	205.2円	-	-	-
一株当たり株主資本	1,880.1円	-	1,987.4円	-	-	-
設備投資額	45.2億円	-	80.0億円	-	-	-
減価償却費	35.5億円	-	40.0億円	-	-	-
研究開発費	28.5億円	-	32.2億円	-	-	-

※:親会社株主に帰属する当期純利益

	2018/3期 第1四半期		2019/3期 第1四半期		
	実績	率	実績	率	伸率
売上高	36,619 百万円		42,703 百万円		16.6%
営業利益	4,004 百万円	10.9%	4,358 百万円	10.2%	8.8%
経常利益	4,203 百万円	11.5%	4,570 百万円	10.7%	8.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,409 百万円	6.6%	2,643 百万円	6.2%	9.7%
一株当たり四半期純利益	36.90 円	—	40.49 円	—	9.7%

**売上** : 9期連続 増収

**営業利益・経常利益** : 9期連続 増益

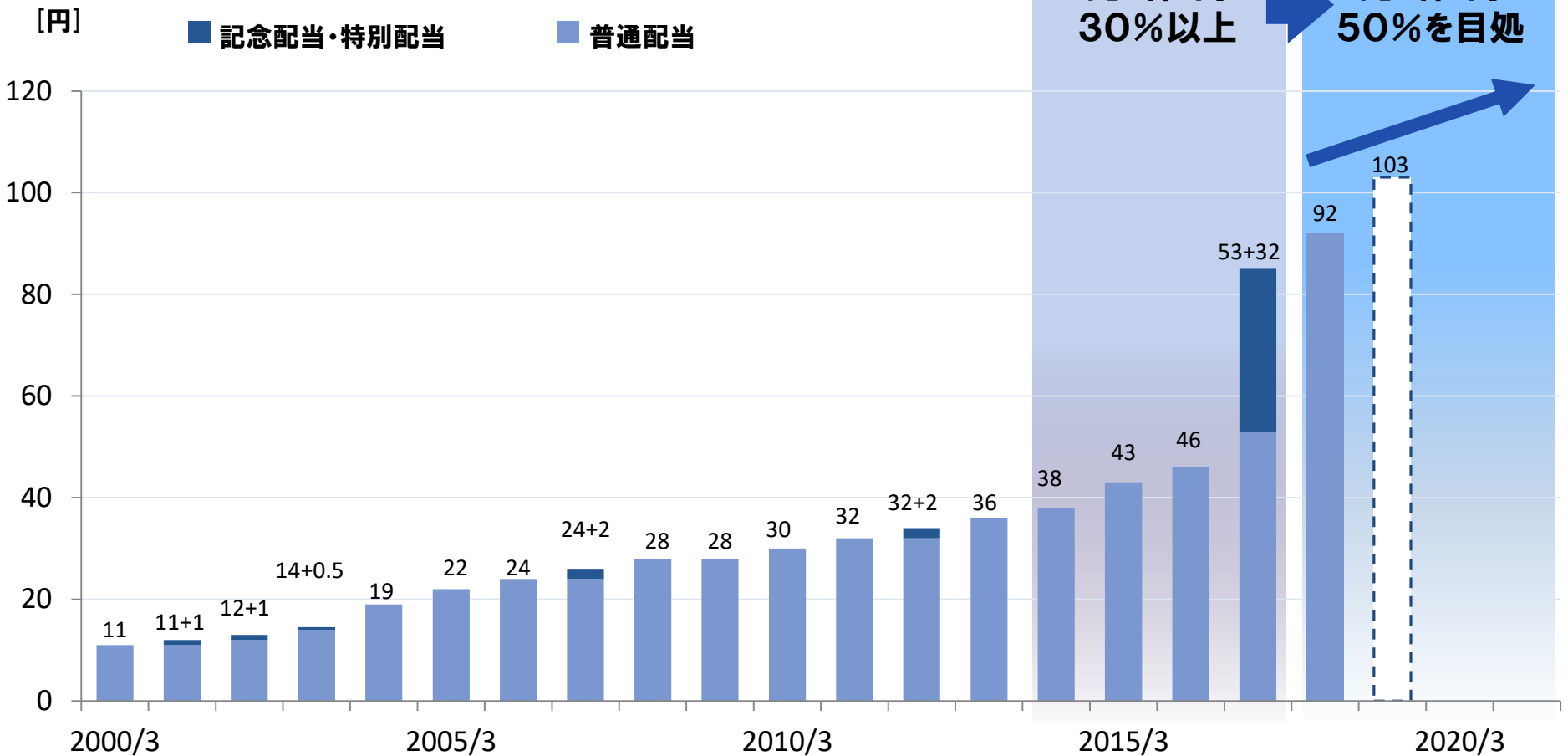
**当期純利益** : 3期連続 増益

**売上** : 6期連続 過去最高を更新

**営業利益・経常利益** : 7期連続 過去最高を更新

NEXT JUMP 1500

C&C2000  
CHALLENGE & CREATION



※2019/3期の配当予想は、現時点の予想値です。